

生物多様性ちば ニュースレター

平成18年11月1日 No1



中央：「秋の里山」浅井粂男（画）

写真 倉西良一

房総半島は、黒潮、親潮の影響で南北の動植物が会う所です。さまざまな水環境、温和な気候、肥沃な土壌条件などから、きわめて豊かな**生物多様性***を有してきました。この恵みは、房総で生活した人々の生活・文化を3万年以上も支えてきました。その意味でも房総は、人と自然が調和・共存し、自立し循環する、世界にもたぐい希な豊かな里山・里海の生態系であったと言えます。

* **生物多様性**とは、私たちの生活や文化を支える「環境」・「資源」の基となる「生命(いのち)のにぎわいとつながりの総体」です。私たち人間もこの**生物多様性**の一員です。**生物多様性条約**などでは、遺伝子レベル、種レベル、生態系レベルの多様さ、あるいは変異・変化の量として**生物多様性**という言葉を使っています。

近年の急激な人口増加に伴う都市の拡大、埋立て・開発やゴミ問題、農林漁業の変貌等により、自然環境は悪化し、**生物多様性**も急速に低下しつつあります。これは、郷土の生物種の絶滅をはじめ、外来種の侵入や鳥獣被害の増大、また、ふるりの生活・文化の消失や農林漁業・観光等での経済的損失、さらには、教育面での子供を取り巻く環境の後退や人の健康被害等、千葉県の現在及び将来に対し多くの問題を生じさせています。

生命のにぎわいとつながりである**生物多様性**の保全・再生は、食料等の資源の確保にとどまらず、水や空気、身体や心の健康等、

人々の生きる環境のみなもとです。この**生物多様性**の恵みを、子供たちに伝え、長く未来に引き継いでいくため、今まさに早急の対応が求められています。

千葉県は、豊かな自然・文化を守り育みつつ、様々な環境問題を解決するため、多くの施策を展開してきました。このたび千葉県の豊かな環境を保全・再生していくために、「**(仮称)生物多様性ちば県戦略**」を策定することとしました。

国では、平成14年3月に「**新・生物多様性国家戦略**」を策定し、**生物多様性**の保全や再生、持続可能な利用に取り組んでいます。しかしその成果が十分に発揮されたとはいえない状況です。そのため、地域ごとに地域の自然環境等を踏まえた独自の戦略が必要です。

- (1) 国家戦略では、絶滅危惧種、外来生物等の事態の好転に必ずしも結びついていません。
- (2) 保護種の選定、防除する外来生物等、国の施策は必ずしも千葉県の実態に合ったものではありません。
- (3) 千葉県特有の**生物多様性**の恵み(海からの恵み、谷津田の自然等)を持続的に利用するための施策を盛り込むことが必要です。

学識経験者からなる「**生物多様性ちば県戦略(仮称)**」専門委員会を設置し、**生物多様性**に関する現状把握・課題抽出・施策の方向

性について専門的見地からの提言をいただきます。この専門委員会の議事録や検討資料についてはHPで公開しています。ぜひご覧下さい。

タウンミーティングを県内各地で実施して、白紙の段階から県民の意見・要望等を伺うことを考えています。タウンミーティングについては、詳細が決まり次第、HP等で広報いたします。是非ご参集下さり御意見を伺いたいと思います。

お知らせ

10月22日に千葉市、10月27日に船橋市でタウンミーティングが行われました。詳細は、千葉県のHPに掲載の予定です。また以下の4地域のタウンミーティングの日時、場所等が決まりました。事前参加の申込みは必要ありません。各タウンミーティングについて詳細は、千葉県環境生活部環境政策室(043-223-4648)まで。

四街道地域

主催団体：タウンミーティング四街道実行委員会
名称：千葉県「生物多様性戦略」四街道タウンミーティング

日時：(第1回)11月26日 13:30-16:30
(第2回)12月10日 13:30-16:30

第1回には、小澤徳太郎氏による講演会『持続可能な社会の発展のために(スウェーデンに学ぶ緑の福祉国家の手法)』が開催されます。

場所：四街道市文化センター(第1回、第2回とも)

千葉市地域

主催団体：環境づくりタウンミーティング in ちば実行委員会

名称：環境づくりタウンミーティング in ちば
日時：11月28日 18:30-21:00

場所：千葉市民会館

主催団体：環境タウンミーティングちば

名称：命のにぎわいとつながり

日時：12月10日 13:00-16:15

全体会のあと、分科会では「環境基本計画の見直し」と合わせて以下の3つの課題について話し合います。1. 生物多様性ちば県戦略策定、2. 環境学習基本方針の見直し、3. ちば環境再生計画の見直し

場所：千葉県立中央博物館(講堂)

東葛・葛南地域

主催団体：環境タウンミーティング東葛葛南実行委員会

名称：命のにぎわいとつながり

日時：11月25日 13:00-17:00

生物多様性ちば県戦略策定に対する意見交換

場所：和洋女子大学・東館16階第1会議室

佐倉地域

主催団体：環境タウンミーティングちば 佐倉グループ
実行委員会

名称：命のにぎわいと印旛沼 - 谷津田・里山そして川 -

日時：12月2日 13:30-15:30

場所：佐倉市役所社会福祉センター大会議室

香取地域

主催団体：環境タウンミーティング・香取実行委員会

名称：香取地域の美しい水と緑の創造

日時：11月26日 13:30-16:00

「千葉県の環境づくり」香取地域からの提案

場所：佐原中央公民館 3階 第4研修室

君津地域

主催団体：君津地域タウンミーティング実行委員会

名称：生物多様性ちば戦略タウンミーティング君津

日時：12月4日 14:00-16:30

場所：君津市役所6階会議室

印西地域

主催団体：北総里山タウンミーティング実行委員会

名称：北総里山タウンミーティング（仮称）

日時：12月10日 13:30-16:00

場所：東京電機大学福田ホール

松戸地域

主催団体：環境タウンミーティング松戸

名称：千葉県環境づくりタウンミーティング

日時：12月17日 11:00-13:45

場所：松戸市市民会館

以上の他、県内各地（4地域程度）でも計画されています。詳細はHP、次号等でお知らせしたいと思います。

第一回「（仮称）生物多様性ちば県戦略」専門委員会が平成18年10月16日に開催されました。

大澤 雅彦（委員長）東京大学大学院教授

原 慶太郎（副委員長）東京情報大学教授

親泊 素子 江戸川大学教授

仲岡 雅裕 千葉大学大学院助教授

中村 俊彦 千葉県立中央博物館副館長

長谷川 雅美 東邦大学教授

羽山 伸一 日本獣医生命科学大学助教授

吉田 正人 江戸川大学教授

委員長・副委員長以下50音順

議事録はHPで公開予定です。

表紙の写真

上段1段目【左から】：子供たち、シャープゲンゴロウモドキ（県；最重要保護生物）、モートンイトトンボ（県；最重要保護生物）、ニホンアマガエル（色彩変異個体）、子供たち。

上段2段目【左から】：クロスジギンヤンマ（県；一般保護生物）、アカハライモリ（県；最重要保護生物）、シャープゲンゴロウモドキの幼虫（県；最重要保護生物）と

捕食されているニホンアカガエルの幼虫（県；最重要保護生物）、ウグイ、コガムシの幼虫（県；一般保護生物）。

下段1段目【左から】：シマゲンゴロウ（県；一般保護生物）、アズマヒキガエル（県；要保護生物）、ガムシ（県；要保護生物）、ミルンヤンマの幼虫、トウキョウダルマガエル（県；重要保護生物）。

下段2段目【左から】：子供、マツモムシ、トウキョウサンショウウオの卵塊（県；重要保護生物）、卵塊を産みつけられたオオコオイムシのオス、子供たち。

子供たちは、里山の休耕田を利用して身近な生き物の学習をしている大多喜町立老川小学校のお友達です。里山に生息するさまざまな生き物が絶滅の危機にありますが、もっとも見かけなくなったのは泥んこになって虫と

りをしている子供かも知れません。

参考：千葉県レッドリスト動物編（2006年改訂版）
このニュースレターに関する質問・要望・意見等ございましたら、千葉県立中央博物館 倉西良一 kuranishi@chiba-muse.or.jp または、千葉県環境生活部 自然保護課 hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp までお願いいたします。

生物多様性ちば ニュースレター No1

発行日：平成18年11月1日

発行：千葉県環境生活部自然保護課・

千葉県立中央博物館

編集担当：倉西良一・熊谷宏尚

千葉県環境生活部自然保護課

〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1

TEL:043-223-2957 FAX 043-225-1630

千葉県立中央博物館

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2

TEL:043-222-3940 FAX 043-266-2481